

第18回木材利用研究発表会

日時 令和元年8月5日(月) 13:00~17:25 (受付・開場:12:30~)
6日(火) 9:00~12:15



会場 土木学会 土木会館2F 講堂

主催 土木学会 (担当:木材工学委員会), 土木における木材の利用拡大に関する横断的研究会
後援 一般社団法人日本森林学会, 一般社団法人日本木材学会, 公益社団法人砂防学会,
一般社団法人日本建築学会, 公益社団法人日本木材加工技術協会, 木橋技術協会,
公益社団法人日本木材保存協会, 一般社団法人日本森林技術協会,
公益社団法人地盤工学会

CPD 土木学会 CPD 認定プログラム (8月5日 認定番号:JSCE19-0706, 単位数:4.0単位)
(8月6日 認定番号:JSCE19-0707, 単位数:3.0単位)

プログラム 第1日目 8月5日(月)

開会挨拶 (13:00~13:05) 吉田 雅穂 (土木学会木材工学委員会委員長/福井工業高等専門学校)

セッション1 (13:05~14:45) 座長:原 忠 (高知大学)

1. RC造4階建物の基礎に用いられていた木杭の健全度調査
村田 拓海 (飛鳥建設)
2. 軟弱粘土地盤における丸太継ぎ杭の鉛直支持力に関する模型実験
末次 大輔 (宮崎大学)
3. 軟弱地盤上の盛土に対する3D-FEMによる丸太打設効果の基礎的研究
千田 知弘 (東北学院大学)
4. 微動アレイ観測による丸太打設地盤のS波速度評価と地震動, 建物被害への影響
西川 隼人 (福井工業大学)
5. 丸太杭を利用した道路交通振動の軽減対策に関する現場実験
吉田 雅穂 (福井工業高等専門学校)

セッション2 (14:55~16:15) 座長:末次 大輔 (宮崎大学)

6. 木橋と近代木橋に対する耐用年数の推定式と要因分析
本田 秀行 (金沢工業大学)
7. 経年による木橋の構造剛性に基づく劣化度と残存年数の算定法
篠原 聖人 (金沢工業大学)
8. 北海道の高規格幹線道路に設置されたカラマツ材製立入防止柵の耐用年数推定
今井 良 (北海道立総合研究機構)
9. 耐久性を備えた手作りの木柵工の設計と施工
渡辺 浩 (福岡大学)

特別講演 (16:25~17:25)

「木材保護塗料の利活用について -屋外木部の風化を防ぐために-」

小林 勝志 (大阪ガスケミカル)

懇親会 (17:40~19:00)

プログラム 第2日目 8月6日(火)

セッション3 (9:00~10:20)

座長:池田 穰 (安藤・間)

10. 折り畳み式木製トラス橋の静的載荷実験

佐藤 史織 (函館高専専攻科)

11. 歴史ある木橋の復元計画への取組み

濱田 康行 (国土開発センター)

12. 直交集成板を用いた橋梁のライフサイクル温室効果ガス排出量

岩瀬 鉄也 (東京農工大学)

13. 京都府の木製治山ダム建設を対象とした地域経済波及効果

藤田 智郁 (東京農工大学)

セッション4 (10:30~12:10)

座長:平沢 秀之 (函館高専)

14. CLT床版橋の剛性挙動

加藤 京介 (秋田大学)

15. コンクリート地覆を取り付けたCLT床版接合部の数値モデル化

高橋 佑輔 (秋田大学)

16. 木材腐朽がビス接合部のせん断性能と変形挙動におよぼす変化

夕室 鈴 (北海道大学大学院)

17. 凍結融解が木材の曲げ強度に与える影響に関する基礎的実験

加藤 真吾 (日本インシーク)

18. 海虫害を受けたスギ試験体の曲げ載荷実験

山田 昌郎 (港湾空港技術研究所)

閉会挨拶 (12:10~12:15)

原 忠 (木材工学委員会論文編集小委員会委員長/高知大学)